

第2回東御市まちづくり審議会議題に係る追加意見・回答書
 (東御市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略の進捗状況/
 地方創生推進交付金等に係る事業実績報告)

資料10

ご意見	回答
<p>「湯ノ丸宿泊者」の進捗率が138.3%で△、その上の欄の「リピーター率」が進捗率149.6%が◎である。 双方とも同じ評価の◎ではないかと思うが、何故△なのか理由を知りたい。</p>	<p>宿泊者に関しましては、年度別目標値を段階的に増加させていくものとして2020年度目標7,360泊に対し実績10,179泊(138.6%)と表記しておりましたが、主管課として毎年16,000泊を目標に掲げるものとし、それに対する実績が10,179泊(63.6%)だったことから、進捗状況を△と評価しました。 総合戦略の年度別目標値を毎年16,000泊に修正いたします。</p>
<p>コロナの影響を受けたものについて、項目ごとの進捗状況評価の判断基準が課ごとに違うかもしれないので、事例を提示しながら同じくらいのレベルでの評価がおこなわれればよいと思う。</p>	<p>コロナの影響については特異な事例であり、その影響も事業により異なるため、事業ごとに状況を見極め評価を行いました。あわせて、評価結果を庁内で横断的に確認を行い市としての評価として提示をさせていただきました。</p>
<p>資料をより分かりやすくするためにコロナ禍での影響の有無を「おおいにあり」「あり」「無し」という、項目を設けていただけると、評価がより分かりやすくなると思う。</p>	<p>上記のご意見とあわせ、令和3年度の進捗状況や評価に関しましては、コロナの影響について明記します。</p>
<p>実績値のマイナス表示の意味について、私も疑問を抱いた。「前年比」という注釈を付け加えるなど、していただければと思う。</p>	<p>報告書の中には、計画数値との比較を記載するものと単に前年比を記載する事業が混在しているため、次年度より結果報告の様式を見直します。</p>